

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイSES藤枝あおじま校		
○保護者評価実施期間	令和7年 10月 10日 ～ 令和7年 11月 1日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30 (回答者数)	16
○従業者評価実施期間	令和7年 10月 10日 ～ 令和7年 11月 1日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 11月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	充実した支援スペース。 室内で過ごす時間も長いため、室内で出来るレクリエーションが充実している。運動なども出来るため真夏・真冬など室外の活動が困難な時でも遊べる空間となっている。	レクリエーション リトミックや粗大運動といった、療育を兼ねたレクリエーションを行っている。ダンスのインストラクターや保育士がいるため相談しながら行っている。	個別の空間 環境整備という点で完全に仕切っている空間（カームルーム）が設置されていないため。今後は検討していきたいと思う。集中出来る空間・憩いの空間の提供
2	連絡網の構築 今年度よりあおじま校の公式LINEを立ち上げて、利用者様との連絡を円滑に行えるように致しました。利用に関しての問い合わせ、相談などにも直ぐに対応出来る様になりました。またおたよりなども細かくお届け出来る様になりました。	活動内容の可視化 普段の活動を保護者様にも見てもらえるよう、見やすく可視化しております。月のスケジュールや活動内容の写真を掲載しております。	ペアレントトレーニング LINEを活用し、支援に対する相談に柔軟に対応していきたい。おたよりにワンポイントアドバイスなど取り入れていきたい。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	カームルーム・クールダウンルームの設置 空間は充実しているが環境が整っていないように感じている。不安定になってしまった児童のクールダウンが車の中になっている。室内にクールダウン出来る部屋があると支援する人数を減らすことなく対応出来ると思っている。	部屋の増設が厳しい。	デッドスペースを有効的に利用していきたい。部屋の隅に死角となる空間があるためそこに個室を設けられないか検討している。
2			
3			